

令和6年度 医工連携研究会

医工連携の挑戦 ～事業化を見据えた医療機器開発～

東京都の医工連携事業では、東京都医工連携HUB機構、東京都中小企業振興公社、東京都立産業技術研究センターが連携しながら都内中小企業による医療機器産業への参入および事業拡大に向けた取り組みを支援しています。さらに革新的な開発テーマにおいては、先端医療機器アクセラレーションプロジェクト (AMDAP) で、専門家による指導や助言と集中支援を実施しています。

本会では、こうした取り組みから創出されたプロジェクトをはじめ、国内で進む革新的な医療機器等の開発事例を紹介いたします。

自治医科大学学長 永井 良三氏による基調講演では、医療

デジタルツインの発展、データドリブンの医療機器開発の可能性などについてお話しいただけます。

特別講演にお招きする榊原記念病院 中山 敦子氏からは、遠隔心臓リハビリテーションシステムをはじめ数々の共同開発を手掛けられたご経験から中小企業と事業化を目指す医工商連携における大事な観点についてご講演いただきます。

実践講演では、AMDAPの支援を活用した事例としてカーブジェン株式会社から、細菌感染症の菌種の推定を支援するAIソフトウェアについてご紹介いただき、東京都医工連携HUB機構から、医療現場のニーズを起点とした3つの医工商連携事例を紹介いたします。ぜひ、ご参加ください。

参加費
無料

令和7年

3.4 火

15:00-17:00

オンライン開催

Zoom

開会挨拶

東京都産業労働局商工部 創業支援課

基調講演

「医療ITとAIの最近の展開：
内閣府SIPの紹介」

自治医科大学 学長 永井 良三氏



特別講演

「遠隔心臓リハビリテーションシステムの
開発と展望 ～医工商連携で大事なこと～」

榊原記念財団 附属 榊原記念病院
循環器内科 部長 中山 敦子氏



実践講演

先端医療機器アクセラレーション
プロジェクト (AMDAP) 実践事例

「細菌感染症における菌種推定支援AI
ソフトウェアの開発から事業化への道のり」
カーブジェン株式会社 取締役 宮塚 功氏



東京都医工連携HUB機構 実践事例

「中小企業による医療ニーズを起点にした
開発・製品化への取り組み」

柏野 聡彦

- ・東邦大学 × 株式会社クリアタクト
- ・岡山済生会総合病院 × オリオン・ラドセーフメディカル株式会社
- ・国立国際医療研究センター × ドクタージャパン株式会社

全体講評

一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ
理事長 谷下 一夫氏



閉会挨拶

東京都医工連携HUB機構
プロジェクトマネージャー 柏野 聡彦



お申込み

以下のURLよりお申込みください。

<https://ikou-hub.tokyo/contents/event/>



お問合せ

東京都医工連携HUB機構 (受託事業者: 日本コンベンションサービス株式会社)
TEL: 03-5201-7321 (平日9:00~17:00) Email: info@ikou-hub.tokyo